

広島県北広島町中山出土の火葬骨

松下 孝幸

【キーワード】：広島県、時代不明、火葬骨、男性

はじめに

広島県山県郡北広島町（旧山県郡千代田町）中山から 1998 年に丘陵の掘削工事中に骨が出土した。出土状況の詳細は不明であるが、人骨は径 50cm 程度の皿状土坑から炭とともに出土したという。また、長さ約 10cm 程度の鉄器片も出土している。人骨は 2005 年に鑑定のために送られてきたが、この骨は火葬された人骨であった。

広島県から出土した火葬骨の出土例は少なく、筆者が報告した例は、豊平町地徳古墓（松下、1997）、東広島市西本 3・4 号遺跡（松下、1999）および広島県府中市東楨山第 1 号古墳の南斜面から出土の人骨しかない（松下、1999）。地徳古墓は中世火葬骨、西本 3・4 号遺跡は近世火葬骨であるが、東楨山第 1 号古墳の南斜面から出土した人骨は所属時代が不明である。

今回出土した火葬骨は発掘調査によって検出された火葬骨ではないので、遺構や所属時期などが明らかではないが、火葬された人骨に間違いのないので、人類学的所見を記載しておきたい。

資料および所見

骨は火葬骨特有の亀裂や捻れを生じており、一見して火葬骨であることがわかる。骨の色調は、炭のために所々黒ずんでいるが、基調は白色である。残存している部分は堅く、火力はそれほど強くなかったようである。本火葬骨を解剖学的に精査したところ、骨に重複が認められなかったので、1 体分の火葬骨と思われる。本人骨に「中山 98Y-1」という人骨番号を付した。

本人骨は上述のとおり、出土状況などが不詳なので、所属時代は不明である。

残存していた火葬骨の量は少なく、重量にして約 180g である。

頭蓋は小片が 6 点で、重量にして約 6g しかない。下顎骨は中央部が残存していた。重量は約 4g である。歯槽の観察は可能で、その状態を歯式で示した。

／ ／ ／ ⑤ ④ ③ ② ① | ① ② 3 ④ ⑤ ／ ／ ／

【●：歯槽閉鎖 ○：歯槽開存 ／：不明 ▽：先天性欠損、番号は歯種】

【1：中切歯、2：側切歯、3：犬歯、4：第一小臼歯、5：第二小臼歯、6：第一大臼歯、7：第二大臼歯、8：第三大臼歯】

なお、左側犬歯は歯根だけが残っていた。従って、咬耗度は不明である。また、観察したところでは歯槽はきわめて健康である。

四肢骨は細片が多いが、中には長さが 6～7 cm を超えるものもあり、骨種の同定が可能なものもあった。右側大腿骨の頸部、左側脛骨の後面、左側腓骨の遠位部、右側距骨の距骨滑車の一部、左側寛骨の大坐骨切痕部、左側の肋骨片が 1 片、左右は不明の中手骨 1 本、同じく中節骨 2 本を同定・確

認することができた。その他に上腕骨と思われる骨体を認めたが、捻れと変形が著しく、左右の別などを同定することができなかった。

右側の大坐骨切痕の角度は小さい。四肢骨の骨体は大きくはないが、大腿骨では粗線の発達は良好である。下顎骨の径も大きくない。

性別は、大坐骨切痕の角度が小さいことから、男性であるが、年齢は推測することができなかった。

要 約

広島県山県郡北広島町（旧山県郡千代田町）中山から、工事中に火葬骨が出土した。解剖学的、人類学的に精査したところ、以下の所見が得られた。

1. 本火葬骨は1体分で、重量にして約180gである。
2. 本火葬骨は皿状土坑から鉄器片を伴って炭とともに出土したが、所属時代は不明である。
3. 残存していたのは、頭蓋片が少量で大部分は四肢骨片であった。下顎骨は中央部が残存しており、その他に、右側大腿骨の頸部、左側脛骨の後面、左側腓骨の遠位部、右側距骨の距骨滑車の一部、左側寛骨の大坐骨切痕部、左側の肋骨片1片、左右は不明の中手骨1本、同じく中節骨2本を同定することができた。なお、のど仏と俗称される第二頸椎は存在しなかった。
4. 本火葬骨は、男性の火葬骨であるが、年齢は不明である。
5. 本火葬骨は出土状況から埋葬されたことは確実である。残存していた骨は1体分がすべて残っていたわけではなく、ごく一部が埋納されていた。頭蓋の量が著しく少なく、頭蓋は別に埋葬されたのではないかという疑念すらおきる量である。四肢骨は珍しく大片のものもみられたが、やはり細片が多く、火葬後、骨はかなり細かく砕かれたようである。このように火葬後、埋納にあたっては、意識的に骨を、原形をとどめないくらい細かく砕くというのが当時の埋納様式だった可能性がある。

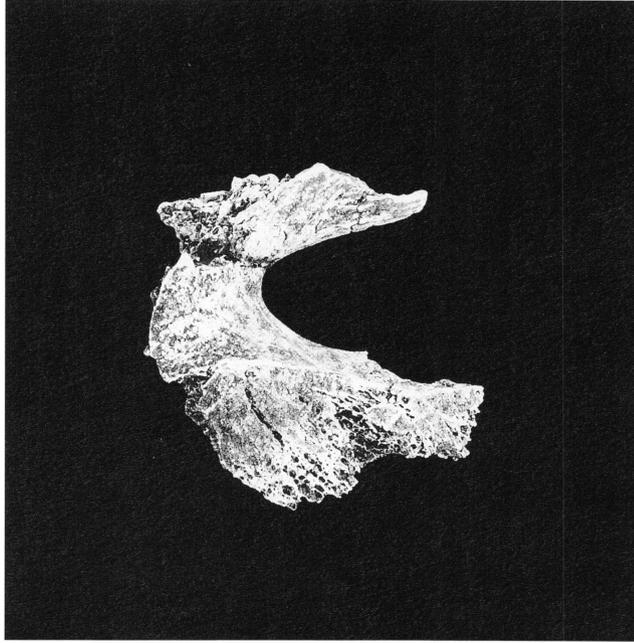
《参考文献》

1. 松下孝幸・他、1987:山口県下松市梅ノ木原遺跡出土の火葬骨。梅ノ木原遺跡（山口県埋蔵文化財調査報告第98集）：107-112.
2. 松下孝幸、1995：山口県周東町上久宗遺跡出土の火葬骨。山口県埋蔵文化財調査報告第174集：25-30.
3. 松下孝幸、1997：広島県豊平町地徳古墓出土の中世人骨。国営広島北部土地改良事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第152集）：51-59.
4. 松下孝幸、1999：広島県府中市門田A遺跡・東楨山第1号古墳南斜面出土の人骨。門田A遺跡・東楨山第1・4号古墳（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第183集）：103-112.
5. 松下孝幸、1999：広島県東広島市西本3・4号遺跡出土の近世人骨。西本3・4号遺跡（広島県埋蔵文化財調査センター調査報告書第175集）：123-139.
6. 松下孝幸、1999:山口県豊浦町吉永遺跡出土の中世火葬人骨。吉永遺跡（Ⅲ－東地区）－平成10年度県営ほ場整備事業に伴う発掘調査報告－（山口県埋蔵文化財調査センター報告第10集）：51-54.
7. 松下孝幸、2002：山口県下関市吉母堂の下遺跡出土の中世火葬骨。吉母堂の下遺跡（下関市埋蔵文化財調査報告書61）：10-11.
8. 松下孝幸、2002：山口県菊川町竜王南遺跡出土の中世火葬骨。竜王南遺跡（山口県埋蔵文化財センター調査報告第31集）：69-74.
9. 松下孝幸、2004：岡山県奥津町久田原遺跡出土の奈良時代火葬骨。久田原遺跡・久田原古墳群（岡山県埋蔵文化財

調査報告 184) : 759-764.

10. 松下孝幸、2004 : 岡山県勝北町山ノ奥遺跡出土の奈良時代火葬骨。山ノ奥遺跡 池東・途田遺跡 (岡山県埋蔵文化財調査報告 180) : 121-129.

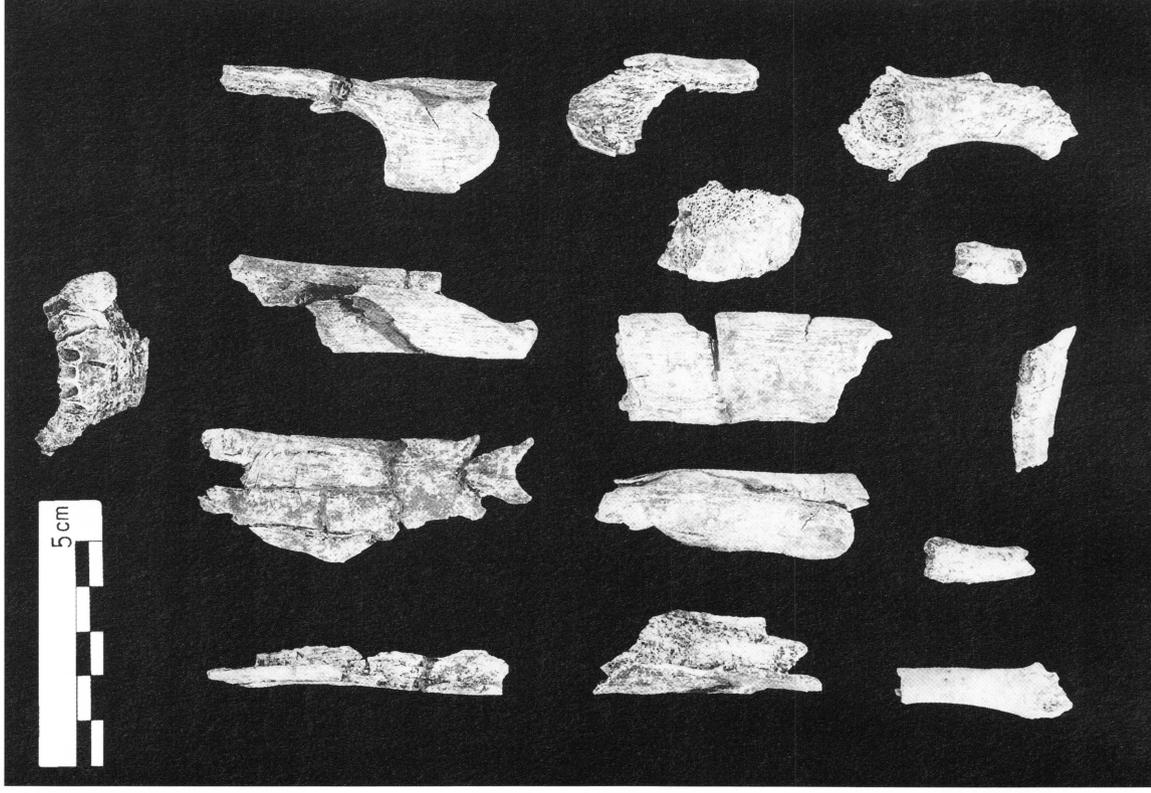
11. 松下孝幸、2005 : 岡山県奥津町夏栗遺跡出土の奈良時代火葬骨。夏栗遺跡 (苫田ダム建設に伴う発掘調査) (岡山県埋蔵文化財発掘調査報告 194) : 651-652.



左側寛骨・大坐骨切痕部 (The left coxa)

中山98Y-1人骨 (火葬骨・男性)

(The Nakayama 98Y-1, cremated male bones)



下顎骨・四肢骨 (The fragments of mandible, limb bones)

土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

研究紀要

第1号

発行年月日 2006年3月
編集・発行 土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム
〒759-6121 山口県下関市豊北町神田上 891-8
TEL 0837-88-1841・1842
FAX 0837-88-1843
印刷 アリフク印刷株式会社
〒759-5101 山口県下関市豊北町栗野 4896-8
TEL 0837-85-0311
FAX 0837-85-0312
